

心は被災者とともに

東京で募金活動展開

大船渡出身の復興支援に立ち上がる 若者グループ

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた被災地の復興支援に、東京都内や近郊に在住する大船渡出身の若者グループが立ち上がった。実家が被災した、親族が行方不明になっている被災者家族の大学生らがボランティア団体「東北被災地復興支援会」を立ち上げ、募金活動やボランティア活動を行っている。これまでに寄せられた募金は300万円を突破。募金活動は30日まで続け、集まった募金は被災地再生の願いを込めて日本赤十字社に寄付する。



被災地の復興を願い、募金活動を行う「大船渡市被災者家族の会」のメンバー。東京・池袋駅東口

3年前のお礼に招待

一関市厳美町の祭時温泉 竹駒町

平成20年6月に発生した「岩手・宮城内陸地震」で被災した一関市厳美町に、津波によって家を失った約20人の被災者が避難生活を送っている。現在、一関市厳美町の祭時温泉に、被災者のために温泉施設が設けられ、被災者とその家族が温泉を楽しむことができるようになった。被災者からは「3年前のお礼に招待」として、温泉施設に招かれた。被災者からは「3年前のお礼に招待」として、温泉施設に招かれた。



一関市の温泉施設から招待を受け、バスに乗り込む避難者たち。竹駒町

このボランティア団体は現在51人。都内のプラカードを手に、街頭に立ち、連日4、5時間募金を呼びかけている。大船渡市被災者家族の会、大津波に被災した被災者家族の大学生らがボランティア団体「東北被災地復興支援会」を立ち上げ、募金活動やボランティア活動を行っている。これまでに寄せられた募金は300万円を突破。募金活動は30日まで続け、集まった募金は被災地再生の願いを込めて日本赤十字社に寄付する。

「心配りありがとう」 自衛隊員に住民感謝

大船渡市(78)は、大船渡市三陸町越喜来で被災した住民らから、自衛隊員への感謝状が送られてきた。被災者からは「自衛隊員のおかげで、被災地が復興し、生活が安定した」と感謝を述べた。自衛隊員からは「被災者のために尽力したことに誇りを感じる」と返答した。

力合わせ日々送る 赤崎漁村セの避難者ら

大船渡市 東日本大震災から10日経った。被災当初は約300人が避難していたが、現在は約100人が避難生活を送っている。避難者らは、赤崎漁村センターで生活を営んでいる。避難者からは「赤崎漁村センターのおかげで、被災地が復興し、生活が安定した」と感謝を述べた。

盛小に入浴施設 陸上自衛隊が設置進める

被災者の避難場所として活用されている盛小(盛岡市)に、陸上自衛隊が入浴施設を設置している。被災者からは「入浴施設のおかげで、被災地が復興し、生活が安定した」と感謝を述べた。

五葉温泉は一 般利用可能に

大船渡市日頃市町の五葉温泉が、被災者の避難場所として活用されている。被災者からは「五葉温泉のおかげで、被災地が復興し、生活が安定した」と感謝を述べた。

安否情報 伝言メモ

被災者の安否情報を伝えるための伝言メモが、被災者から送られてきた。被災者からは「伝言メモのおかげで、被災地が復興し、生活が安定した」と感謝を述べた。



名もなき花窓口に 復興へのメッセージも

被災者の復興へのメッセージが、被災地の花窓口に送られてきた。被災者からは「花窓口のおかげで、被災地が復興し、生活が安定した」と感謝を述べた。

縁ある町で救援活動 上山市消防署員がエール

上山市消防署員が、被災地の救援活動を行っている。被災者からは「上山市消防署員のおかげで、被災地が復興し、生活が安定した」と感謝を述べた。



上山市消防署員が、被災地の救援活動を行っている。被災者からは「上山市消防署員のおかげで、被災地が復興し、生活が安定した」と感謝を述べた。